KOBE Co CREATION CENTER

大学・企業連携回

第21回 大学の研究者ショートプレゼン&交流会
～KOBEアカデミックトーク～

先端アグリバイオ × スマートテクノロジーが拓く 次世代農業
～ゲノム編集とデジタル技術で創る「食」と「農」の未来～

11月26日(木) 18:30～20:00

大学の最先端研究を、地域の皆さまに身近に感じていただくための対話型イベント「KOBEアカデミックトーク」。第21回は農業の未来をテーマに、研究と実践（大学×企業）、それぞれの立場で活躍されているお二人をお迎えします。

ゲノム編集で挑む、アレルギーを起こしにくいイチゴの開発。
画像認識やフィジカルAIで挑む、農業現場のDX。
最先端のアグリバイオ研究と先進のデジタル技術が出会うとき、これからの「食」と「農」、そして地域の未来はどう変わるのでしょうか。

今回、研究者としてご登壇いただくのは、神戸大学大学院農学研究科の宇野 雄一先生です。ゲノム編集技術を用いて、アレルギーを起こしにくいイチゴの開発に取り組んでおられます。人々の健康に貢献する「ウェルネスプランツ」の可能性や、これからの食と農業の未来について、「ゲノム編集が拓く園芸作物の未来 ～イチゴアレルギーへの挑戦と品種開発～」と題してお話しいただきます。
また、企業の立場からご登壇いただくのは、株式会社NTTドコモ クロステック開発部で農業関連プロジェクトリーダーを務める水野 涼介氏です。人口減少やコスト高騰といった課題を抱える農業現場に対し、画像認識技術やフィジカルAIを活用して挑む先進的な農業DXについて、「NTTドコモにおける農業の業務効率化に資する先進技術活用に関する取り組み」と題してご紹介いただきます。

講演と対話の時間を通じて、次世代農業の可能性と共創のヒントを探ります。
未来を形づくる新たな視点に出会える機会として、ぜひご参加ください。

開催概要

【日 時】
11月26日(木) 18:30～20:00
(受付18:00～)
【会 場】
KOBE Co CREATION CENTER
神戸市中央区三宮町1-1-9 センタープラザ 9階
【対 象】
テーマに関心のある企業・団体・行政関係者、研究者、学生、地域の皆さま
【定 員】
30名程度（事前申込制・先着順）

参加申し込みはこちら

SCAN ME!

※締切：11月24日(火)

プレゼンター



宇野　雄一
YUICHI UNO
神戸大学大学院農学研究科
教授



水野　涼介
RYOSUKE MIZUNO
(株) NTTドコモ
クロステック開発部 農業関連PJリーダー

ファシリテーター



安部 孝太郎
KOTARO ABE
(株) NTTドコモ
クロステック開発部 担当部長

第21回 大学の多様な研究について知る研究者ショートプレゼン&交流会　～KOBEアカデミックトーク

先端アグリバイオ × スマートテクノロジーが拓く次世代農業
～ゲノム編集とデジタル技術で創る「食」と「農」の未来～



宇野　雄一　神戸大学大学院農学研究科　教授

YUICHI　UNO

1996年神戸大学大学院修了。博士（農学）。農林水産省などでのポスドク、神戸大学農学部助手、米国ネバダ大学招聘研究員、神戸大学大学院准教授を経て、2020年より現職。
ゲノム編集による作物改良に取り組む一方、「植物を元気に育てる緑の手（グリーンサム）」は持ち合わせておりません。六甲山から徘徊してくるイノシシの猛攻をかわしながら、美味しく安全な作物の未来を研究中。

ゲノム編集が拓く園芸作物の未来～イチゴアレルギーへの挑戦と品種開発～

ゲノム編集技術を使った身近な野菜や果物の工夫についてお話しします。イチゴアレルギーの原因成分に着目し、最新技術でアレルギーを引き起こしにくいイチゴの開発を進めています。これまでの研究で、果実中のアレルギー成分が大幅に減り、患者さんの血液を用いたテストでも反応が抑えられることを確認しました。さらに、香りの良いレタスなどの開発例も紹介し、ゲノム編集によって、これからの農業や食生活がどのように変わっていくのか、皆さんと楽しく考えます。

関連情報はこちら



水野　涼介　(株) NTTドコモ クロステック開発部 農業関連PJリーダー

RYOSUKE　MIZUNO

2020年、静岡大学大学院 総合科学技術研究科 情報学専攻を修了。
同年、株式会社NTTドコモに入社。サービスイノベーション部配属。AIやビッグデータを活用した技術開発に従事。2024年よりクロステック開発部にて、フィジカルAIを活用した農業分野の社会課題解決および先進技術開発に取り組む他、衛星技術を活用した行政の効率化に関する業務にも携わる。

NTTドコモにおける農業の業務効率化に資する先進技術活用に関する取り組み

「NTTドコモが農業…？」。発表タイトルを見てそう思われた方に向け、NTTドコモR&Dが推進する農業DXの取り組みをご紹介します。人口減少に伴う担い手不足、人件費や資材の高騰など多くの社会課題を抱えた農業分野に対して、ドコモの中でも異色のチームが本気で課題解決に向き合ってきました。本講演では、そんなチームがこれまで展開してきた画像認識技術やフィジカルAIを活用した具体的なアプローチをご紹介します。

関連情報はこちら

参加申込はこちらから

安部　孝太郎

KOTARO　ABE

（株）NTTドコモ クロステック開発部　担当部長

2000 年 早稲田大学大学院理工学研究科経営システム工学修了。ドコモの法人部門、コンサル会社出向、経営企画部門、R&D部門での新規事業開発経験を経て、2024年より現職。神戸市を中心として、各地方自治体の社会課題に適応した先進技術を実装する取り組みを推進中。



KOBE Co CREATION CENTER　主催・問い合わせ：(一社)大学都市神戸産官学プラットフォーム　info@kobeplatform.or.jp　TEL 078-954-6921 (代表)